



2024年3月8日

各 位

会 社 名 日 東 精 工 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 賀 誠
(コード：5957 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取 締 役 財 務 戦 略 本 部 長 松 本 真 一
(TEL. 0773-42-3111)

ISS 社の議決権行使助言に対する当社の見解について

当社は2024年3月27日開催予定の第118期定時株主総会に付議する「第3号議案 監査役2名選任の件」(以下「本議案」)に関し、議決権行使助言会社の Institutional Shareholder Services Inc. (以下「ISS」)が候補者番号2の仲雅彦氏の選任に対して、反対推奨するレポートを発行している事実を確認しました。

本議案に関する候補者の選任理由等は、招集ご通知に記載の通りですが、あらためて下記の通り当社の見解を補足説明させていただきますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. ISSの反対推奨の内容

ISSは、本議案における候補者番号2の仲雅彦氏の選任について、当社の大株主(持株比率4.98%)、および借入先であり、政策保有株式を保有する(株)京都銀行での勤務経験があることをもって、独立性に欠けるとして反対推奨しています。

2. 当社の見解

仲雅彦氏は、過去において当社の借入先である(株)京都銀行の業務執行者でありましたが、2019年6月に退任後は同行の常任監査役に4年間在任され、2023年6月には当社との取引がない(株)京都総研コンサルティングの代表取締役社長に就任(現任)されております。また(株)京都銀行は当社の株主ですが、投資先の中長期的な企業価値の維持・向上の観点から賛否を判断する旨の議決権行使ガイドラインを公表しています。当社が保有する同行の持株会社、(株)京都フィナンシャルグループの株式464,800株(持株比率0.15%)のうち464,000株は、退職給付を目的に信託設定しているため、貸借対照表には計上しておらず、議決権行使も企業価値向上やコーポレートガバナンスなどの当社方針に照らして判断しております。

これらのことから、監査役候補者としての独立性には問題がないものと考えております。一方、仲氏は金融機関の融資審査部門の担当役員や監査役を歴任されており、その高い知見が、中期経営計画で取り組む成長投資に関する当社取締役会の判断の適切性、および監査業

務の健全性・透明性の向上に活かされると判断しております。

また、既に社外監査役として上場企業の研究開発部門、メディカル部門、および監査役を歴
任されている森田真一郎氏が就任していることから、各氏の知見が網羅的に活かされること
により、当社経営に対するコーポレートガバナンスの一層の充実に資すると考えております。

以上